



トステム株式会社

エックスステージ(先付けブラケット)



取付け説明書

※この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告 …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

- 本体落下の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・本商品は木造躯体に取付ける構造になっています。取付け前に必ず躯体条件を確認してください。(P.2参照)
- ・先付けブラケットは外壁下地工事前に躯体に取付けてください。
- ・ボルト・コーチボルトの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。
- ・必ず指定の取付けねじ・ボルト類で固定してください。

▲注意

- 漏水のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・シーリング指定個所には、必ずコーキング材を充てんしてください。
- ・サッシの下に先付けブラケットを取付ける場合は、必ずサッシ枠まわりの防水テープ工事後にブラケットを取付けてください。(P.6参照)

■取付け上のお願い

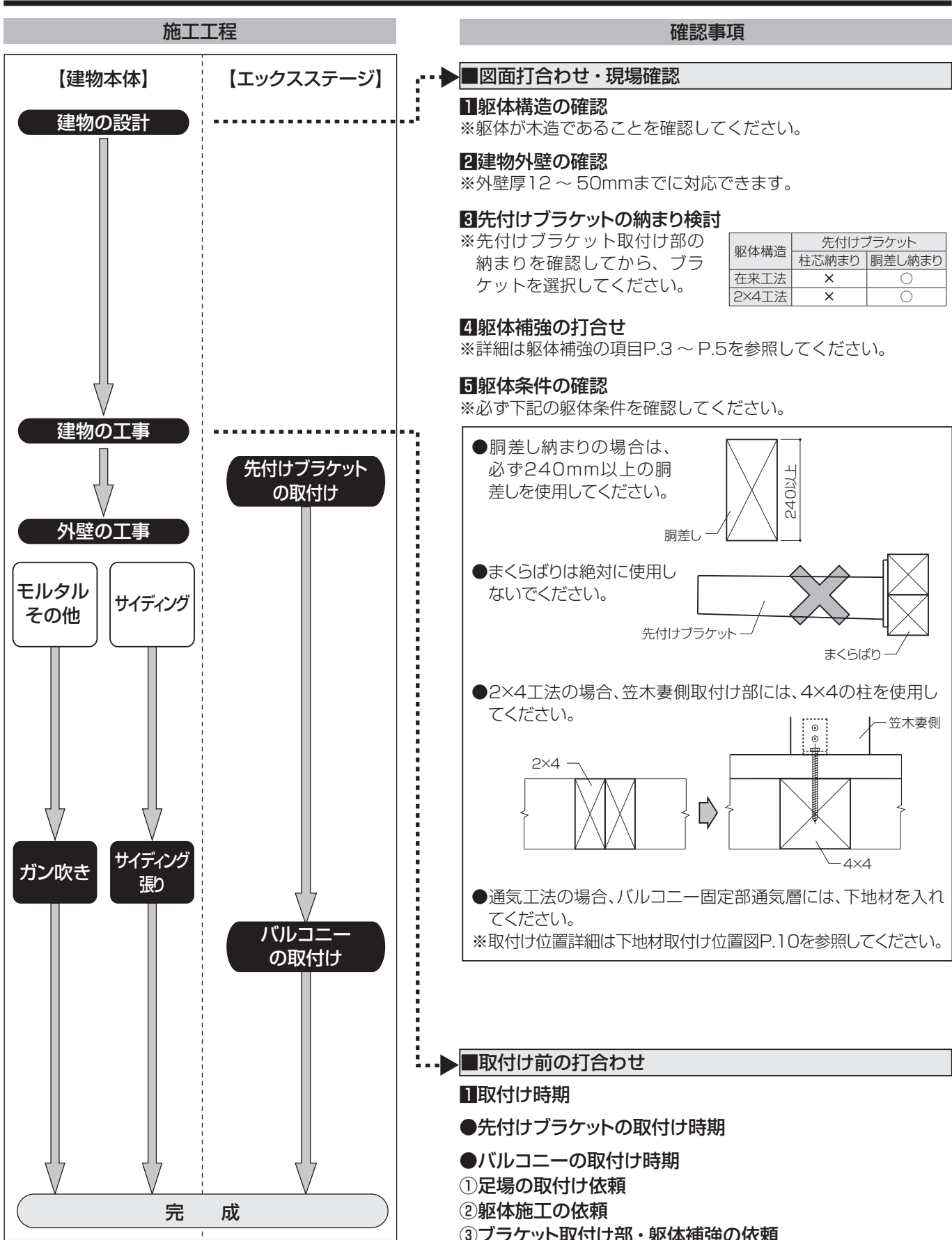
- 取付けは専門業者の方が行ってください。
- 先付けブラケットは、足場として使用しないでください。
- 外壁工事の際、先付けブラケットにモルタルなどが付着しないようにしてください。
- 当社指定の付属品以外は取付けしないでください。
- 水平・垂直は正確に出してください。施工に支障がでるおそれがあります。

■梱包明細表

●先付けブラケットセット

名称	先付けブラケット	増締めキャップ	バックアップ材	スペーサー	目地パッキン	防水パッキン	防水シート
イメージ図							
1.0間、1.5間	2	4	4	2	2	2	2
2.0間	3	6	6	3	3	3	3

名称	角座金M8用	六角ボルトM8×150	六角コーチボルトM8×90	平ワッシャー M8用	丸木ねじφ3.8×45	取付け説明書
イメージ図						
1.0間、1.5間	4	4	4	4	13	1
2.0間	6	6	6	6	19	1

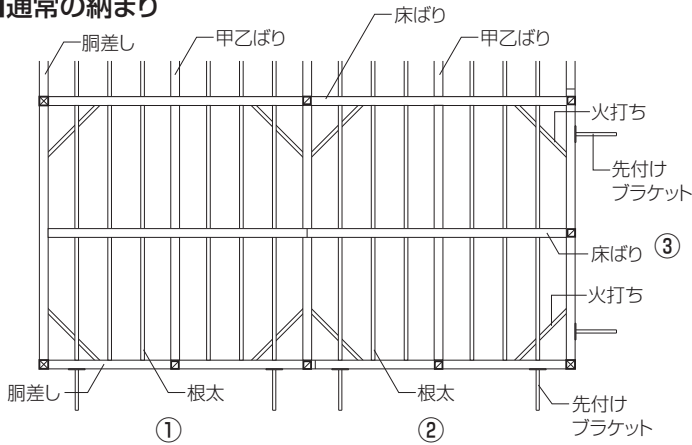


■躯体の補強(在来工法)

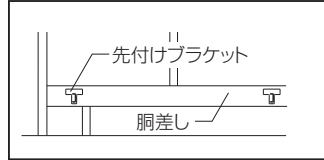
■胴差し納まり

●在来工法の躯体に先付けブラケット(胴差し用)を取付ける場合は、下図を参考に必ず胴差しを補強してください。
※取付け面によって補強方法が異なりますので確認してください。

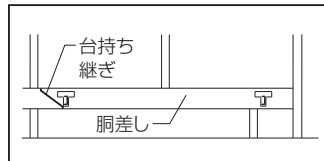
■通常の納まり



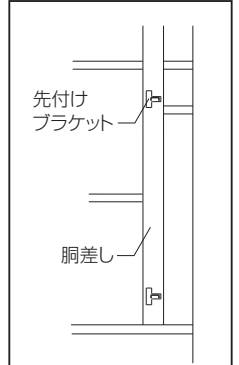
①標準部分



②継手部分

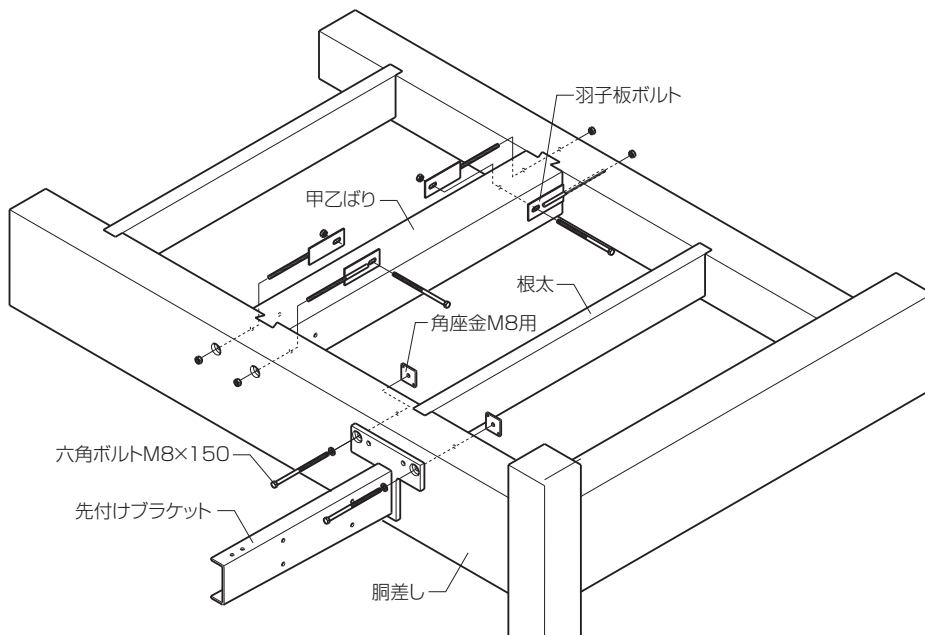


③側根太部分



■甲乙ばりによる補強(甲乙ばり105×105以上)

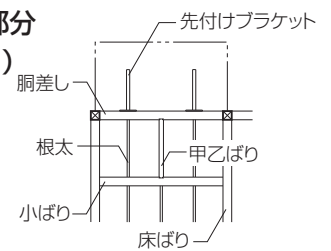
①標準部分



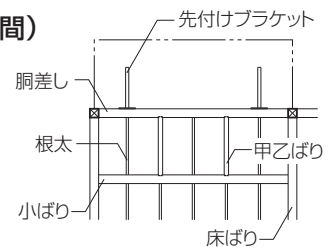
●甲乙ばりの位置

①標準部分

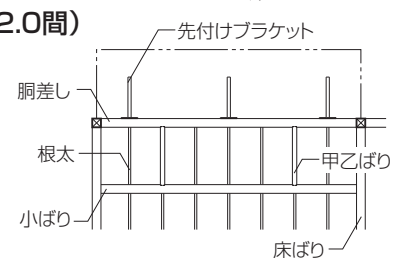
(1.0間)



(1.5間)



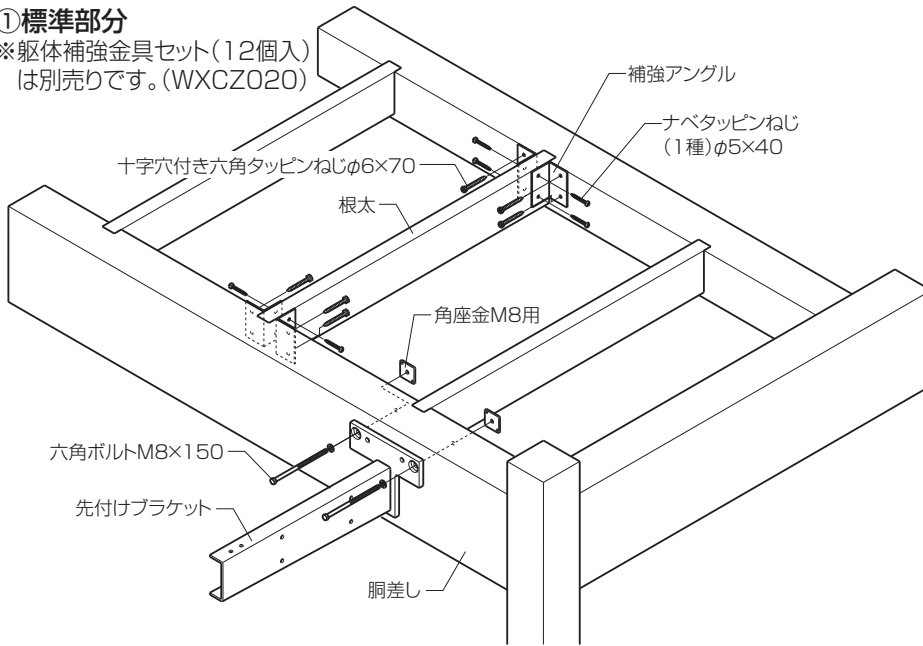
(2.0間)



■補強アングルによる補強

①標準部分

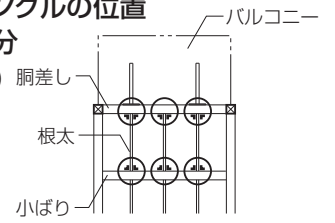
※躯体補強金具セット(12個入)
は別売りです。(WXCZ020)



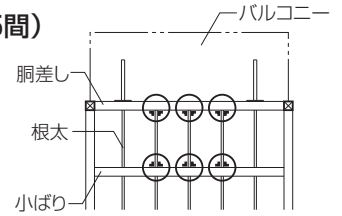
●補強アングルの位置

①標準部分

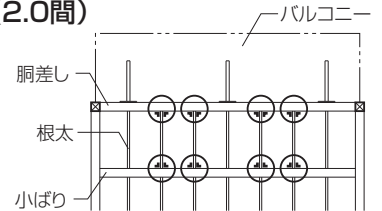
(1.0間)



(1.5間)



(2.0間)



■甲乙ばりによる補強

②継手部分

③側根太部分

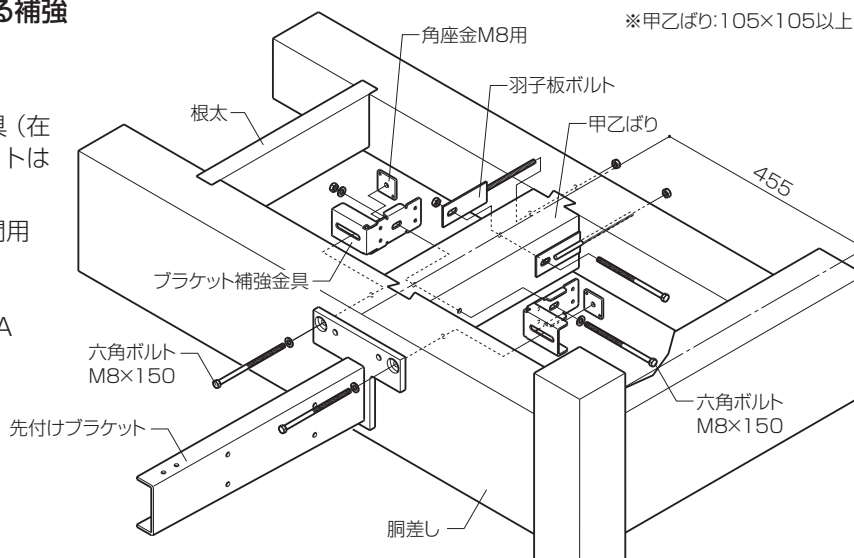
※胴差し補強金具(在
来工法用)セットは
別売りです。

1.0 間、1.5 間用

WXCZ025

2.0 間用

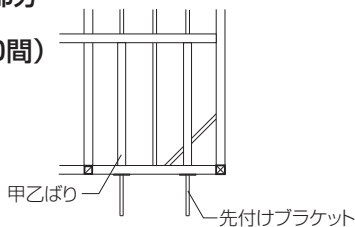
Z-Y551-PBFA



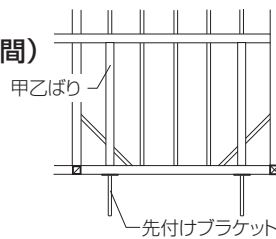
●甲乙ばりの位置

②継手部分

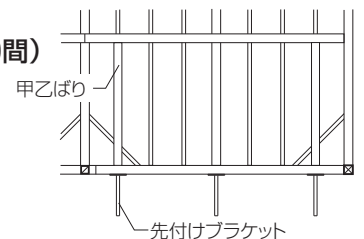
(1.0間)



(1.5間)

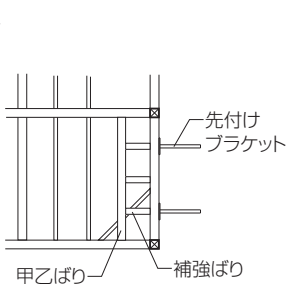


(2.0間)

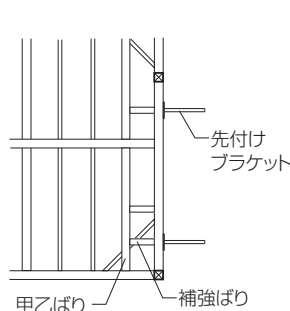


③側根太部分

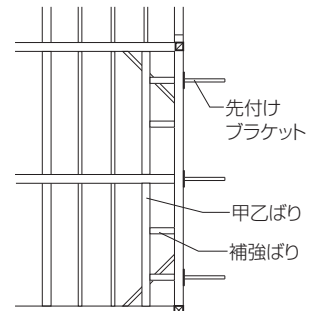
(1.0間)



(1.5間)



(2.0間)



■躯体の補強(2×4工法)

■胴差し納まり

- 2×4工法の躯体に先付けブラケット(胴差し用)を取付ける場合は、下図を参考に必ず胴差しを補強してください。
- ※取付け面によって補強方法が異なりますので確認してください。

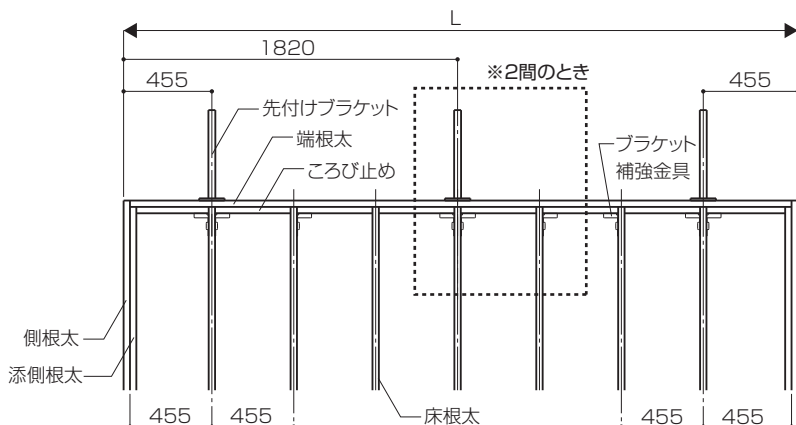
【端根太側】

- 先付けブラケット直近の床根太(2本)を利用して、ブラケット補強金具で補強してください。

※詳細は、**P.8上段**を参照してください。
 ※胴差し補強金具(2×4工法用)セットは別売りです。

1.0間、1.5間用：WXCZ024

2.0間用：Z-Y541-PBFA



【側根太側】

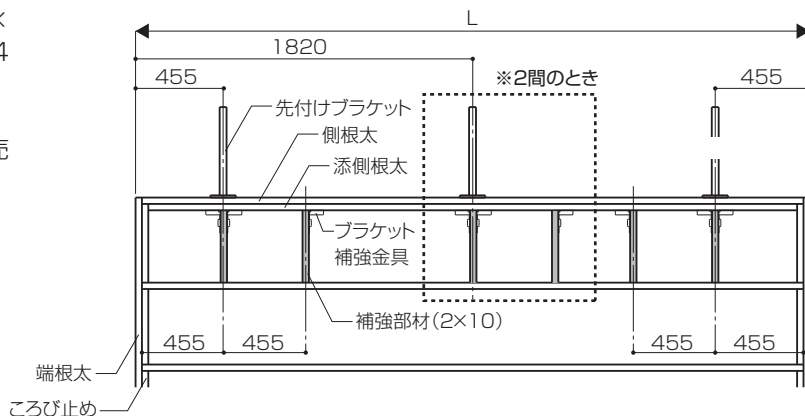
- 右図の 部分の位置に、あらかじめ2×10の補強部材を入れておき、さらに2×4用補強アングルで補強してください。

※詳細は、**P.8下段**を参照してください。

※胴差し補強金具(2×4工法用)セットは別売りです。

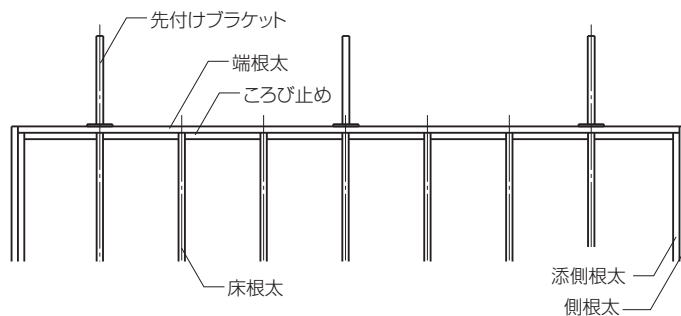
1.0間、1.5間用：WXCZ024

2.0間用：Z-Y541-PBFA

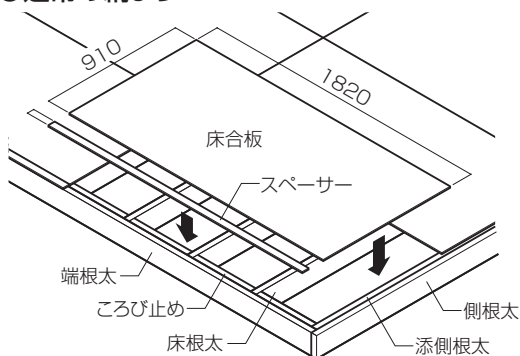


【参考補強法(端根太側)】

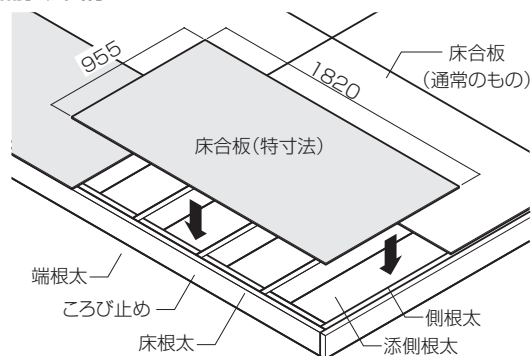
- 端根太側のみ、次の方法でも補強ができます。通常の床合板(910×1820)とスペーサーにかわって、特寸法の床合板を使用し、床合板と端根太を釘止めして補強します。
- ※この場合、ブラケット補強金具は必要ありません。



●通常の納まり



●補強床納まり



■取付け順序

①先付けブラケット取付け位置の決め方

●外壁仕上げ後は、取付け位置の変更ができません。下図にしたがって正確な位置を決めてください。

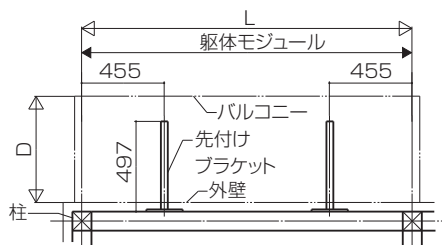
※P.11～P.12の納まり図を参照してください。

【標準納まり】

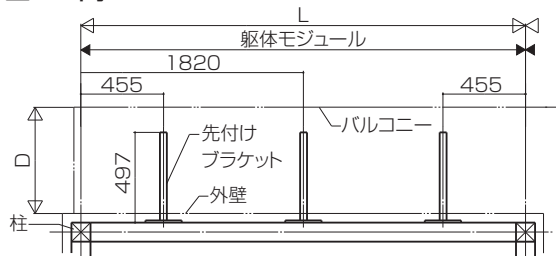
●胴差しタイプ

長さ	L (製品寸法)	
	関東間	
単体	1.0間	1820
	1.5間	2730
	2.0間	3640
出幅		D寸法
3尺		885

■1.0間、1.5間



■2.0間



②先付けブラケットの取付け

■ブラケットとサッシ周りの防水方法

※サッシ枠(屋外側)の釘打ちフィン部分の防水処理後に先付けブラケットを取付けてください。

※先付けブラケット取付け部にすでに外壁の透湿防水シートが施工されている場合は、同梱の防水シートは使用しないでください。

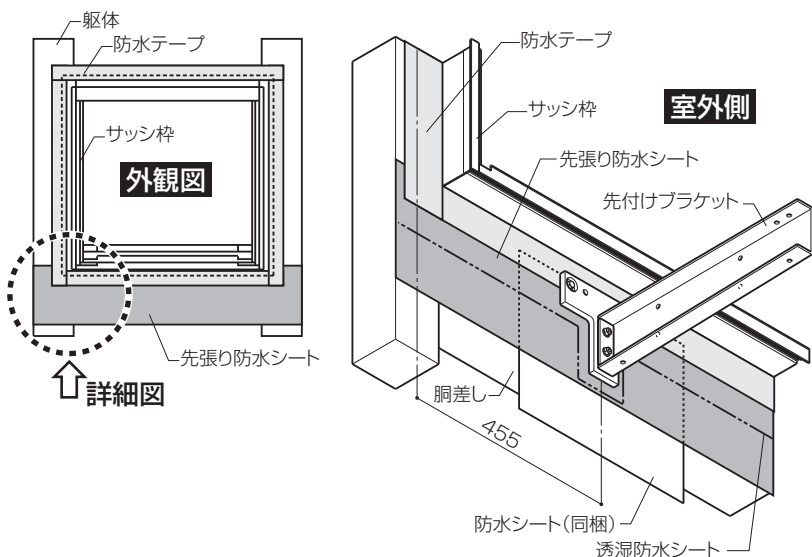
①防水シート(同梱)をサッシ枠の先張り防水シートの下に差込みます。

②先付けブラケットを、サッシ枠の先張り防水シートの上から固定します。

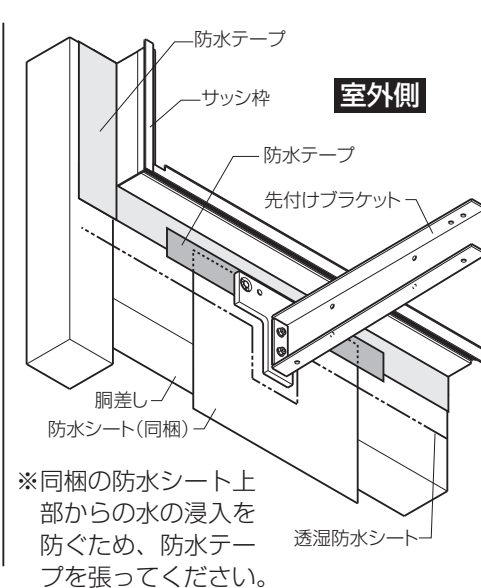
※先付けブラケットを取付ける際は、施工済みの透湿防水シートにシワをよせたり破いたりしないようにしてください。

※外壁の透湿防水シートを後から施工する場合は、左右・下ともに100～150mm程度の重ねができるようにしてください。

【先張り防水シートがある場合】



【先張り防水シートがない場合】



▲注意

- サッシの下に先付けブラケットを取付ける場合は、必ずサッシ枠まわりの防水テープ工事後にブラケットを取付けてください。

■在来工法【標準部分】

①ブラケット取付け位置を墨出し、ブラケットを六角ボルトM8×150・角座金M8で固定した後、六角コーチボルトM8×90で固定してください。

※各納まりの裏側は下記を参照してください。

■在来工法【継手・側根太部分】…P.7

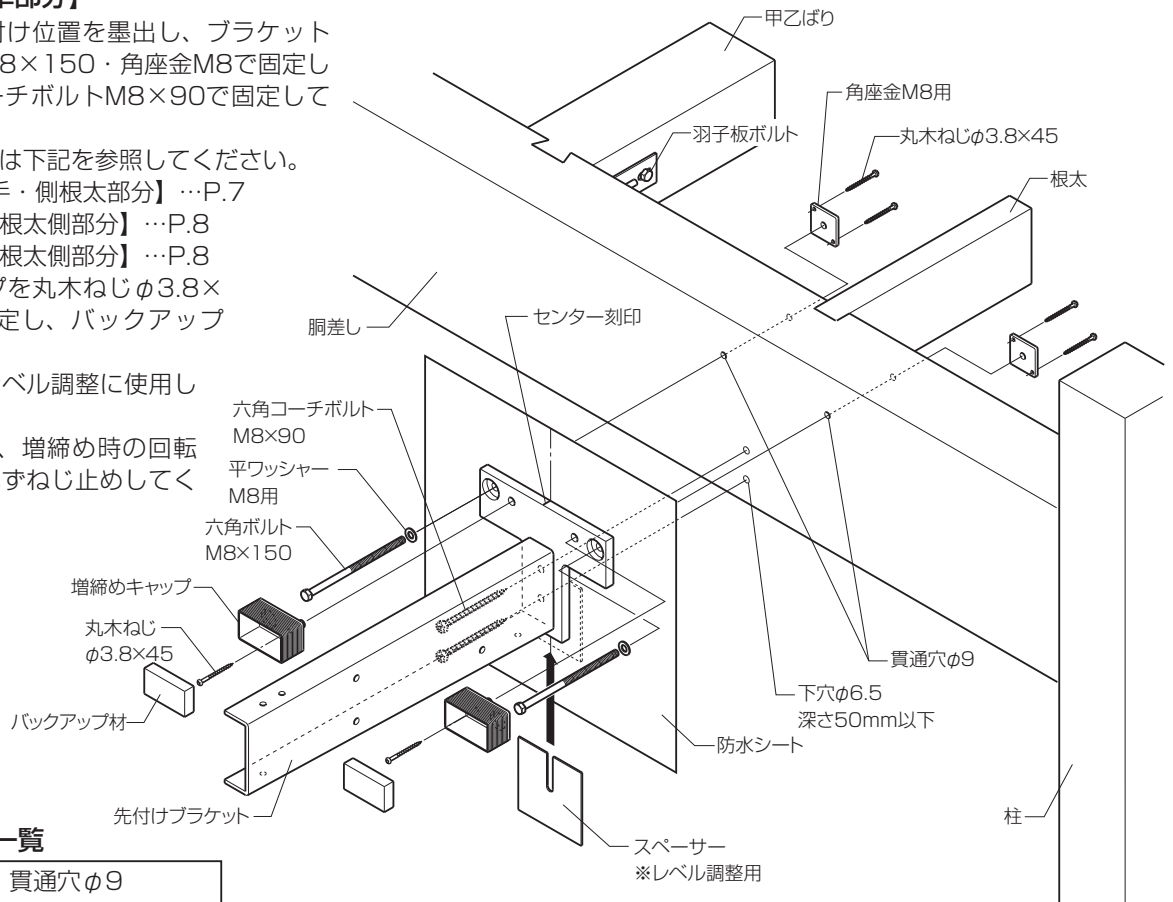
■2×4工法【端根太側部分】…P.8

■2×4工法【側根太側部分】…P.8

②増締めキャップを丸木ねじφ3.8×45で躯体に固定し、バックアップ材を入れます。

※スペーサーはレベル調整に使用してください。

※角座金M8用は、増締め時の回転防止のため、必ずねじ止めしてください。



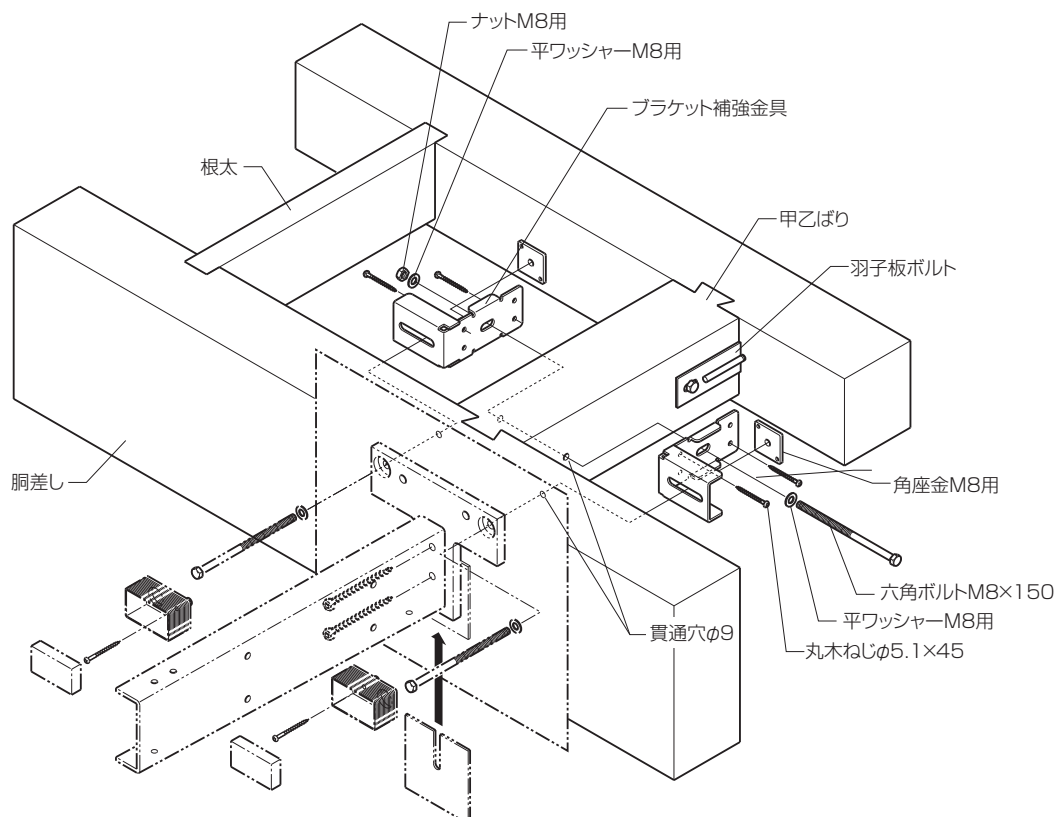
●下穴ドリル径一覧

六角ボルト M8×150	貫通穴φ9
六角コーチ ボルトM8×90	穴φ6.5 (深さ50mm以下)

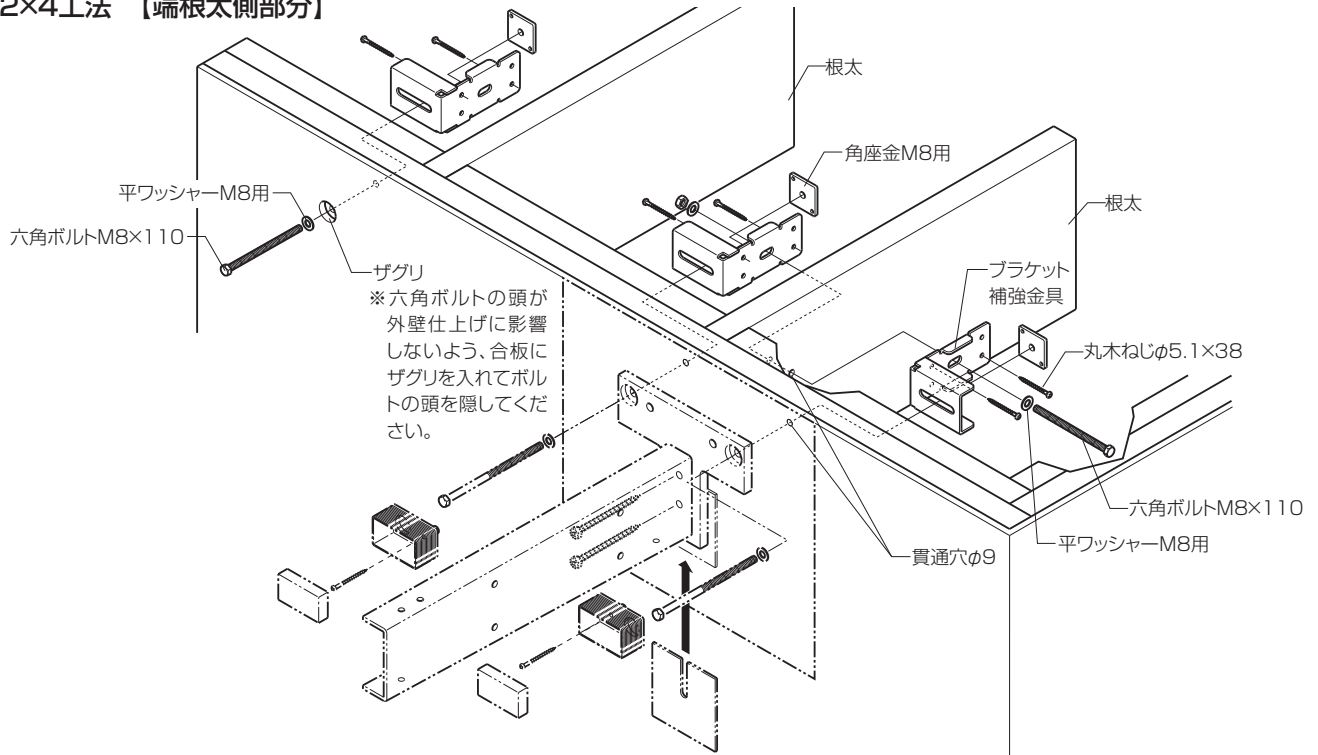
⚠ 警告

●ボルト・コーチボルトの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。

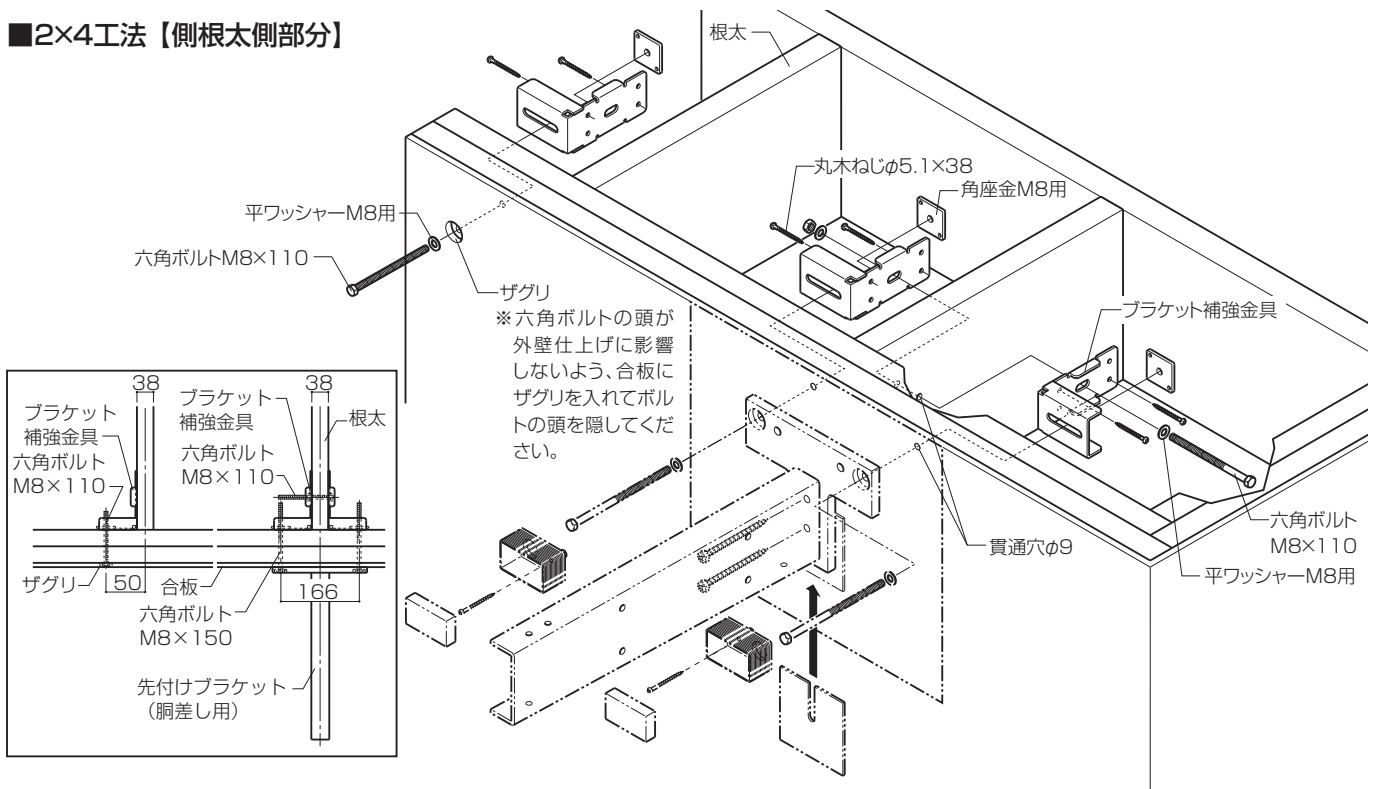
■在来工法【継手・側根太部分】



■2×4工法 【端根太側部分】

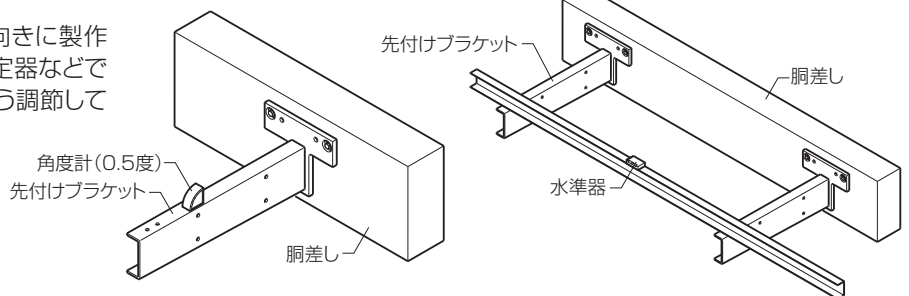
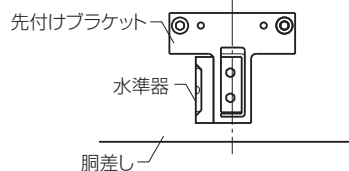


■2×4工法 【側根太側部分】



■レベル調整

※先付けブラケットは、先端が5mm上向きに製作されています。取付けの際に、角度測定器などで先端が5mm(0.5度)上向きになるよう調節してください。



③防水パッキン・目地パッキンの取付け

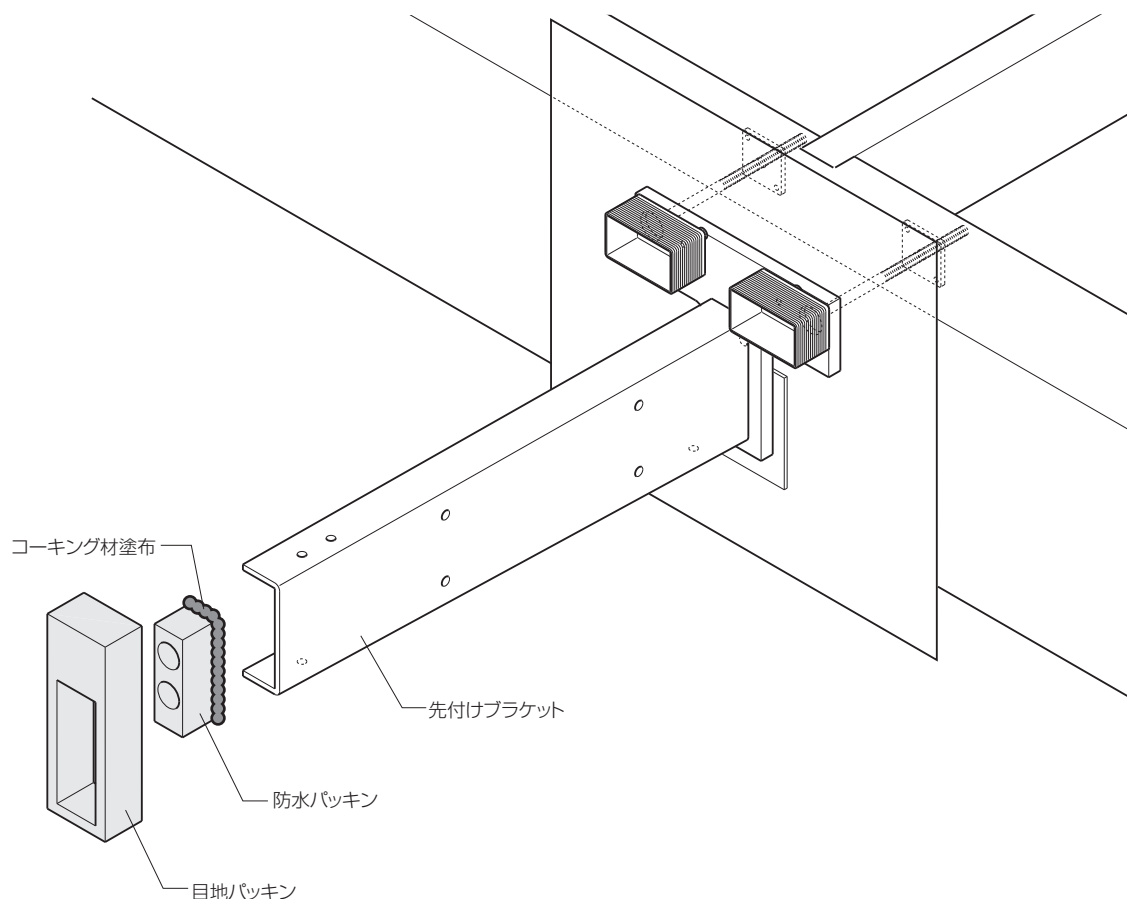
①防水パッキンにコーキング材を塗布し、接着します。

※先付けブラケットとの間にすき間がある場合は、コーキング材を充てんしてください。

②目地パッキンを先付けブラケットの根元までスライドさせます。

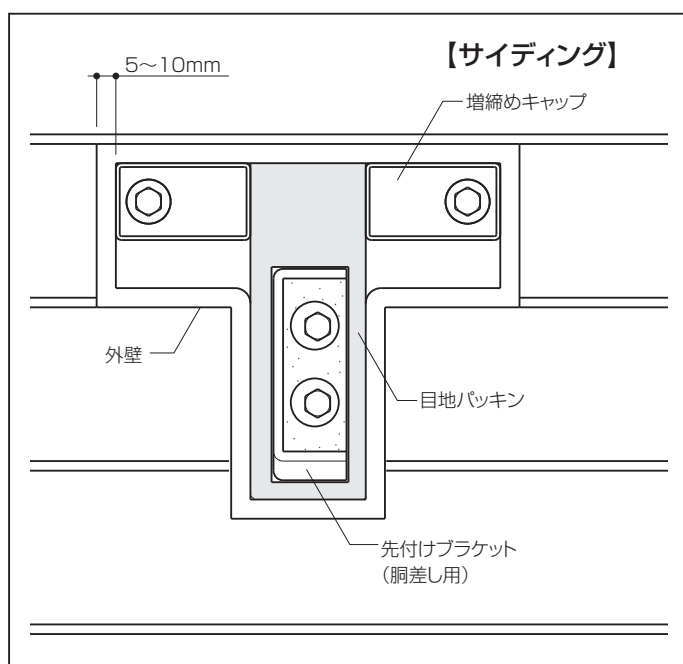
▲ 注 意

●シーリング指定個所には、必ずコーキング材を充てんしてください。



【参考】

※先付けブラケット背板と外壁のコーキング材スペースを5mm～10mmとるよう工務店さまと打合せをしてください。

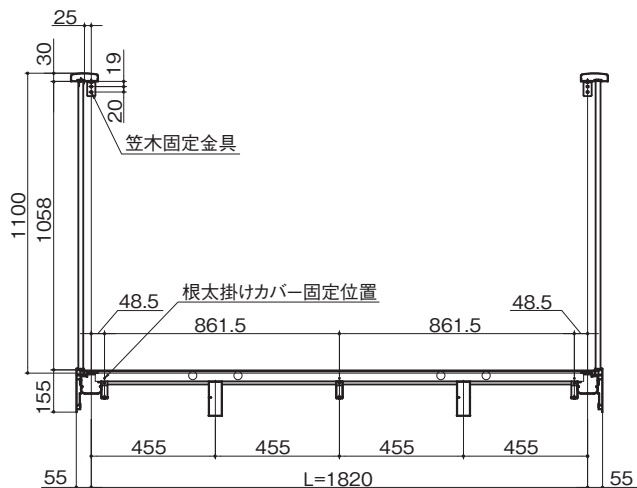


■下地材取付け位置図

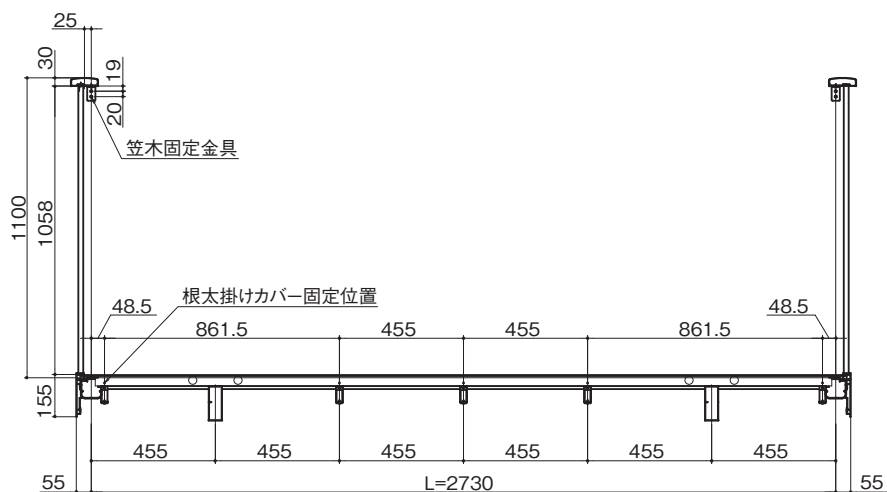
※エックスステージは関東間のみです。

■胴差しタイプ

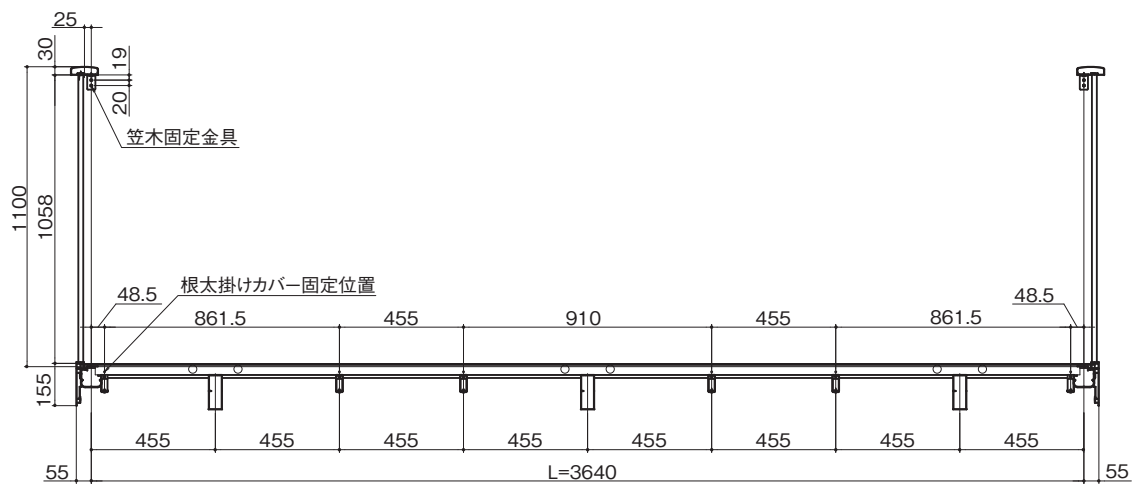
●1.0間



●1.5間



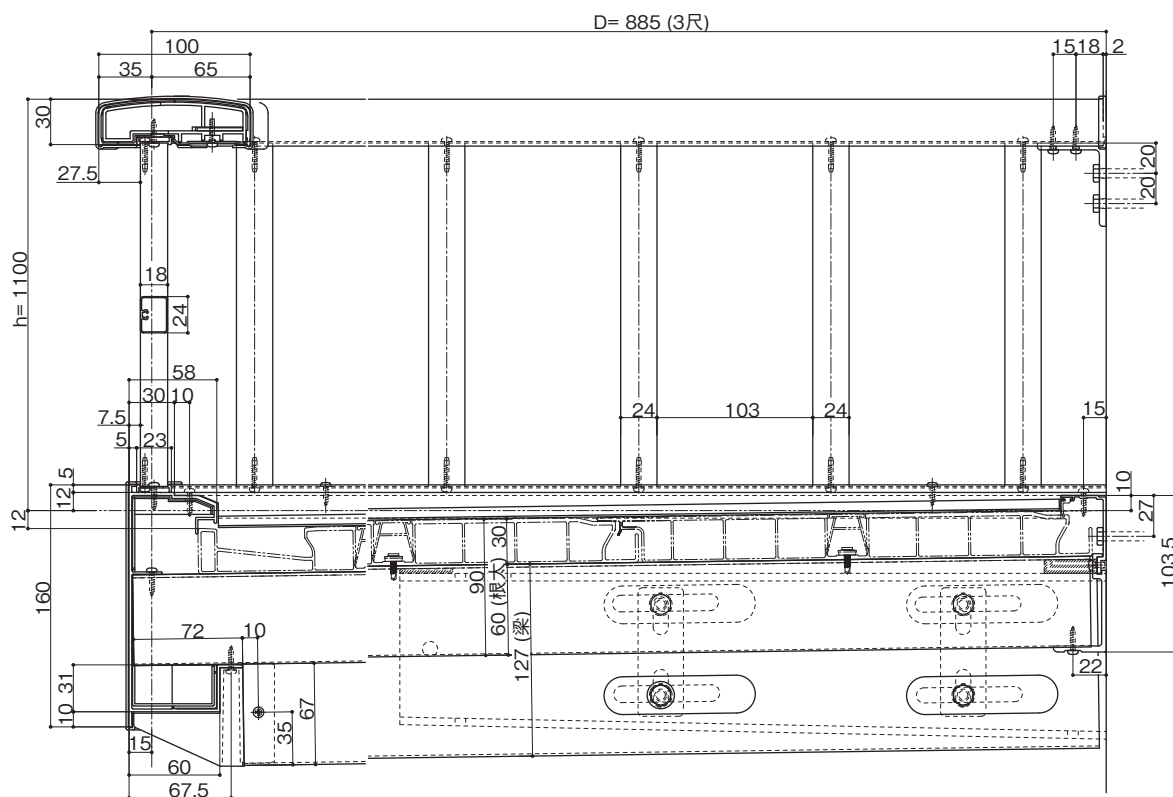
●2.0間



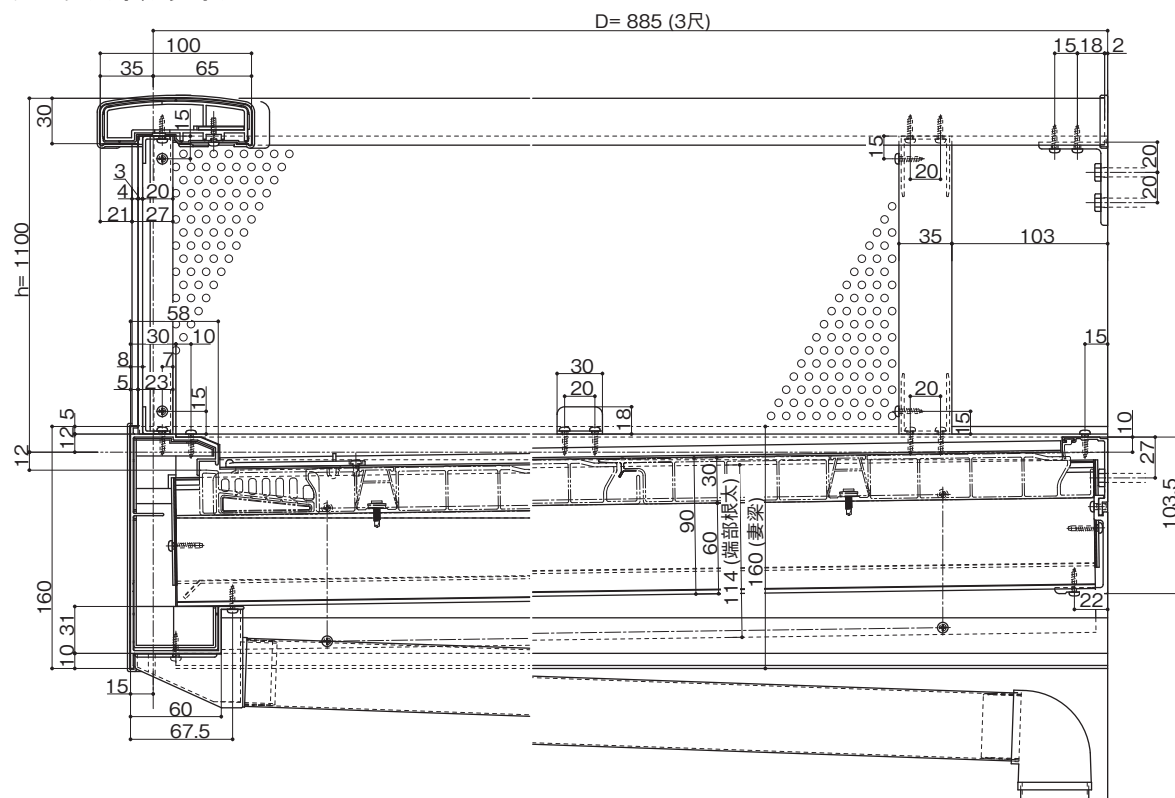
■納まり図

■縦断面図(胴差しタイプ)

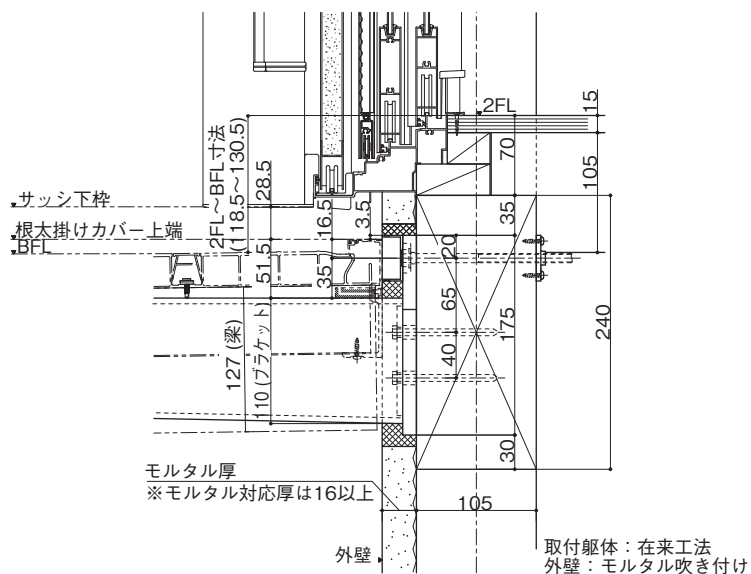
●縦格子タイプ



●パンチングパネルタイプ



●在来工法、モルタル吹き付け・胴差し納まり

[illegible]

Technical cross-section diagram of a window installation. The diagram shows the window frame, sash, and surrounding wall structure. Key dimensions and components are labeled:

- Dimensions:**
 - 127 (梁) - Beam height
 - 110 (プラケット) - Bracket height
 - 28.5 - Distance from BFL to 2FL
 - 51.5 - Distance from BFL to 110 (プラケット)
 - 35 - Distance from 110 (プラケット) to 2FL
 - 16.5 - Distance from 2FL to 3.5
 - 3.5 - Distance from 16.5 to 52.5
 - 52.5 - Distance from 3.5 to 20
 - 20 - Distance from 52.5 to 125
 - 125 - Distance from 20 to 69.5
 - 69.5 - Distance from 125 to 15
 - 15 - Distance from 69.5 to 27
 - 27 - Distance from 15 to 55
 - 55 - Total height of the window frame assembly
 - 235 - Total height of the wall assembly
 - 38 - Thickness of the outer wall
 - 89 - Thickness of the inner wall
- Components and Labels:**
 - サッシ下枠 - Sash bottom frame
 - 根太掛けカバー上端 - Root beam bracket cover top end
 - BFL - Bottom Frame Line
 - 2FL ~ BFL寸法 (93~105) - 2FL to BFL dimension (93~105)
 - モルタル厚 ※モルタル対応厚は16以上 - Mortar thickness ※Mortar compatible thickness is 16 or more
 - 外壁 - Outer wall
 - 取付躯体: 2×4工法 - Mounting frame: 2×4 construction
 - 外壁: モルタル吹き付け - Outer wall: Mortar spraying